

2018 君津里山活動事例発表会

きみつ 里山のにぎわい

平成 30 年 2 月 18 日 (日)

君津市生涯学習センター・君津中央公民館

主催 きみつ里山活動ネットワーク

共催 特定非営利活動法人ちば里山センター

2018 君津里山活動事例発表会

『きみつ 里山のにぎわい』

目次

きみつ里山活動ネットワーク代表のあいさつ	P 1
特定非営利活動法人ちば里山センター理事長あいさつ	P 2
君津市長あいさつ	P 3
基調講演：講師紹介と講演要旨	P 4
「ちばの里山活動25年・歩みと展望」	
- 日本一のミツバツツジの里づくりから始まった地域おこしを未来へ -	
事例発表・展示発表参加団体一覧	P 6
事例発表要旨	P 8
・発表①：浜子の歴史と景観を守る会	P 9
・発表②：きみつのさんぼ道 × 坊ノ内養蜂園	P 10
・発表③：一般社団法人もりびと	P 12
・発表④：農業生産法人(株)千葉農産	P 13
・発表⑤：大鷲里山ファーム協議会	P 15
・発表⑥：君津市役所建設部都市整備課	P 17
意見交換	P 19
資料1：「君津市の公園・緑地」・・・市民に近い憩いの場	P 20
資料2：君津市の農・林業について	P 22
きみつ里山活動ネットワークの紹介	P 25

【きみつ 里山のにぎわい】とは、 . . .

(「2015 ちば里山宣言 in 君津」より)

里山は、先人が自然に働きかけ創り上げた豊かな生活空間です。

里山は、水・薪炭・茅・山菜・落ち葉・緑肥・木材など多様な恵みをもたらす命山です。

里山は、季節ごとに姿を変え、心をいやす美しい景観、心のふるさとです。

いま里山の多くが、人の手が遠ざかりにぎわいを忘れ、荒れ、寂しく、沈んでいます。そこで、里山で活動している団体や、里山に関心がある市民・企業など、様々な立場の人々が、交流や情報の共有を通して、それぞれが持っている技術や知恵、人材などのネットワークを構築することにより、ひとつの大きな力となって、多様な里山活動を互いに支えながら、人や生き物にとってかけがえのない里山の環境を、未来に引き継ぐことを目的としています。

2018 君津里山活動事例発表会 『きみつ 里山のにぎわい』

きみつ里山活動ネットワーク 会長 鈴木 宗男



皆様こんにちは！

本日は「きみつ里山のにぎわい」第3回きみつ里山活動事例発表会に、お寒い中、多くの市民の皆様がご参加くださりまして誠にありがとうございます。

市議会議員の皆様、石井副市長様はじめ市幹部職員の皆様にもご臨席を賜り、感謝申し上げます。

わが君津市は、臨海部への世界的企業の進出による人口増加と土地区画整理に伴う宅地造成の中、3町一村が合併、新たなまちづくりが始まって、はや半世紀になろうとしています。都市像を「水と緑の豊かな田園工業都市」を掲げ、「住みたくなる君津市」を目指し邁進してまいりました。

目指すところは、市街地と広大な農地や里山が広がる地域のバランスある発展でありました。

君津市には、市域の65%約206平方キロにもなる豊かな森林、2,000haもの農耕地があり、これを基盤に地域の人々の努力により、農林業生産高は県下に誇る存在となっています。

他市に誇れる山、川、湖、滝など、あまたの豊かな自然があります。

今君津には、多くの注目が集まっています。その代表的なものが、SNSを通じて話題沸騰となった亀岩の洞窟・農溝の滝であります。最近では、郡ダムへの水上スキーの話題もあります。それにとどまらず、東京と直結する地の利が、新たな価値を生み出しつつあります。観地として、野菜、花卉、卵、シイタケなどの特産物の生産地として、農業・林業の体験活動の場として、さらには移住地としても大いなる可能性が出ています。これらすべてが、命をはぐむ里山の資源であります。私たちは、この可能性を今こそ、地域づくりに生かす必要があると考えます。

自然と人々の営みに注目し、里山の資源を生かし、^{なりわい}生業を生み出し、地域の活性化を図り、次の世代につなげたいと、多様な活動が起きています。その力をつなげ、君津全体の力にしていこうと里山活動ネットワークを立ち上げ、3年目となりました。

君津市には、鈴木市長さんの提唱で展開される、文化のまちづくり市税1%支援事業があり、多くのグループ団体が、この制度を活用し、生き生きと活動しています。

「きみつ里山のにぎわい」を掲げた里山活動事例発表会も、今回で3回目です。

6団体が事例発表し、30を超える団体グループが展示発表しております。君津の活動がいかに幅広く、生き生きとしたものであるかをご理解いただきたいと思います。

基調講演は、日本一のミツバツツジの里づくりに取り組み、ちばの里山活動のパイオニア伊藤道男さんをお願いしました。未来へのご提言もいただけるものと期待しております。

森林環境税の導入が来年度から始まると話題となっています。この活用をいかに図るかは今後の地域の、里山の盛衰を左右することになると思います。市の農林行政からの報告を受け、本日をこの制度を地域に生かす活動のスタートにしたいと考えます。

里山は生活の場、命山です。生きる術を生み出す、生業を生み出す豊かな地域です。

本日が、里山と里山活動の発展に、大いなる力となることを願い、主催者挨拶とします。

2018 君津里山活動事例発表会 『きみつ 里山のにぎわい』

NPO 法人ちば里山センター 理事長 金親 博榮



「きみつ里山にぎわい・里山活動事例発表会」が盛大に開催され誠にありがとうございます。君津市という一地域において、地域里山活動団体が一堂に会して、開催されることに、15 年間、千葉県の上山活動に一県民としてずっと携わってきたものとして、よくぞここまで来たものだとの、特別の感慨を抱いているところです。

2003 年千葉県で第 54 回全国植樹祭が開催され、これを機に全国に先駆け、里山条例施行が施行されました。このことにより、県域の上山活動が一元的に動き出し、その中心的組織として「ちば里山センター」が設立されました。里山条例の目的は、山林ばかりではなく、近接する田畑、水辺をも含むエリアを対象として、「里山」は、農林業の生産の場であると同時に多様な生き物の生育空間や景観形成、防災や気象緩和等にも大きな役割を果たしています。それまで、里山の保全・整備は、長い間土地所有者のみに委ねられてきましたが、環境の世紀を迎え、適正な役割分担の下に県民全てがこれに関わるとともに、余暇や教育に係る活動の場等として里山の活用を進めることにより、人と里山との新たな関係を構築し、豊かな里山を次の世代に引き継ぐことを目的に掲げています。

これを受け、2004 年には 市民活動を里山に広げるため、第 1 回里山シンポジウムが開催され、テーマを「里山に託す私たちの未来」とし、里山センターの活動と相俟って、市民活動の進展に寄与してまいりました。

里山の整備の課題は、第 1 に、あいまいな山林の境界問題です。第 2 に長引く木材価格の低迷で、林家の経済は厳しく、継続の危機であり、後継者不足です。第 3 に千葉県で特有の杉の溝腐れ病の蔓延と松枯れのダブルパンチです。そのため、従来の林業は成り立っておりません。一方、森林の持つ多面的な機能の認識は弱く、子ども達の心身の発達に欠かせない「場」としての上山の活用は後退し、活用事例は少なく、竹林の拡大は樹木への影響ばかりではなく田畑や、河川にまで影響を与える存在となっていることを主張し続けてきました。

森林の役割は現在では、循環型社会を築くための CO2 の削減となること等を含めた、生物多様性 水源教育・学習の場 セラピーなどの多様な役割が指摘されています。

この間に、2008 年千葉県生物多様性センターが設立、2010 年「第 10 回生物多様性条約締約国会議 (COP10)」開催、さらに炭酸ガスの排出量規制に関する京都議定書が議決され、おおきな流れができています。

2012 年国連大学高等研究所・日本の里山・里海評価委員会（編）「里山・里海：自然の恵みと人々の暮らし（日本語版）」および「Satoyama-Satoumi Ecosystems and Human Well-Being（英語版）」を発行、【S A T O Y A M A】の表記が、国際的にも定着しました。

2013 年「環境革命の時代がー里山と都市の現代的価値を巡ってー」において、涌井史郎氏の「自然を守れば自然が守ってくれる」、産業革命が招いた人類の果てしない欲望と、生存基盤の危機を招いた。産業革命に次ぐ時代は、第三の「環境革命」の時代であり、「有限の資源を如何に利用していくか」、持続可能な社会を追求する中で、里山の現代的意義を考える。という言葉が印象に残っています。

ところで、今国会で審議される森林環境税は、森林、里山の環境整備を通して、温暖化ガス CO2 の吸収源である森林の整備を進めようとするものであり、施策の主体は、市町村が担うという国税です。来年 31 年度から、各市に森林環境譲与税として配分が開始され、段階を経て増額される予定となっています。いま、その受け入れの準備が、大車輪で進められようとして居り、この影響は、これまでに無く、大きなものとなる事が予想されています。どのような事業に、どれだけ使うのかは、市の裁量によるとのことであり、是非、里山活動団体への応援が届くよう期待するものです。いずれにせよ、このような里山のイベントが、関係市民団体、君津市の大きな努力によって、実現した事に敬意を表し、今後の一層の発展に期待して、ちば里山センターからの挨拶とします。

2018 君津里山活動事例発表会

『きみつ 里山のにぎわい』の開催に寄せて

君津市長 鈴木 洋邦



本日ここに、「きみつ里山のにぎわい」が、盛会に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

身近な自然環境である里山は、古くから人々の生活に深く関わり、農林業の生産の場であるとともに、多様な生き物の生育空間や景観形成、防災や気象緩和等にも大きな役割を果たしてまいりました。

しかしながら、生活様式や農業生産方式などの変化により、人と自然との関わりが薄れ、かつての里山の姿は、失われつつあります。

このような中、「にぎわいの里山活動 楽しく・深め・つなげよう」をテーマに、里山活動関係者や、多くの市民の皆様にもご参加をいただき、里山活動事例発表会が開催されますことは、大変意義深いものであると考えております。

本市といたしましては、この活動が、市民自らの手による君津文化の醸成と地域の活性化に寄与するものとして、「君津市文化のまちづくり市税1%支援事業」として支援をさせていただいております。

今後も、多くの市民の皆様が本事業を活用し、幅広い分野で活発な事業を展開されることを期待しております。

結びに、きみつ里山活動ネットワークのますますの充実発展と、本日ご参会の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

基調講演

「ちばの里山活動25年・歩みと展望」

- 日本一のミツバツツジの里づくりから始まった地域おこしを未来へ -



講師：**伊藤 道男 氏**

林業専門職員にして、里山活動のパイオニア！！

昭和48年千葉県職員、林業職員として森林行政に勤務するかたわら、森・山・里と人との新たな関係の到来を予感し、県内各地で市民とともに里山活動を実践する。平成8年、請われて君津市ふるさと緑課長となり、「日本一のミツバツツジの里」づくりを推進した。

第54回全国植樹祭開催(平成15年)に当たり、ちば千年の森構想、里山条例の制定等に深くかかわり、千葉県の里山活動の先駆として活動。

千葉県森林課長、君津農林振興センター長、千葉県緑化推進委員会常務理事等を歴任
現在、ちば里山センター副理事長 森林インストラクター
ちば千年の森をつくる会副代表兼事務局長

講演要旨

1. 里山とは

- (1) 里山の定義は定まっていない。
- (2) 時代とともに変化している。

2. 里山の現状

- (1) 人工林（スギ・ヒノキ林） 雑木林（薪炭林・農用林） 竹林
- (2) 林業を巡る経済状況
- (3) 里山の役割の変化

3. 里山活動

- (1) 里山活動とは
- (2) 活動のはじまり
- (3) 里山活動団体の急増
- (4) 代表的活動事例

4. 日本一のミツバツツジの里づくり

- (1) 地域個性形成事業（国土庁所管） 平成7～11年
ミツバツツジがつなぐ君津市民のネットワーク（市民・自治会・学校・企業・行政）
- (2) 苗木の生産（花木センター） 地域の遺伝子を持つ苗木の生産
- (3) ミツバツツジフェスティバル等 清和 30000本、久留里に 5000本 以後も植栽
- (4) ミツバツツジ保護条例
- (5) 街おこし、里山活動、生涯学習

5.全国植樹祭と里山条例

- (1) 概要 平成 15 年 5 月 かずさアカデミアパーク（メイン会場） 清和県民の森（サブ会場）
- (2) 開催理念 快適な生活空間 資源循環 県民参画
⇒ 里山に関する施策を一括実施する契機に
- (3) 里山条例 里山活動協定
- (4) 記念事業（プレ事業）
里山再生プロジェクト 千年の森づくり事業 ちば・ふれあいのみどり 100 選
- (5) タイプ別活動事例 市民活動タイプ 地域住民タイプ、企業・県外・公募タイプ

6.ちば里山センター（中間支援組織）

- (1) 組織
- (2) 活動内容 総合窓口、情報発信、研修・講習、里山カレッジ、森林山村多面的機能発揮対策交付金
- (3) 安全対策

7.課題と展望

- (1) 資金
活動資金（外部資金なども考慮して） 団体運営資金（独自財源を主に）
- (2) 技術
林床の有効利用（ミツバツツジ、ブルーベリー、クロモジ）
密度管理（間伐）
更新への取り組み
情報発信技術
- (3) 人材
里山第 1 世代
里山第 2 世代
里山第 3 世代

事例発表・展示発表参加団体一覧

1. 里山活動事例発表団体

各団体10分程度で活動事例などを発表します。

No.	発表団体名等	発表の概要等	発表(責任)者
①	浜子の歴史と景観を守る会	「濱子山建暦寺」周辺環境整備・竹林整備とこれからの活動	荒井 裕三
②	きみつのさんぼ道×坊ノ内養蜂園	ミツバチ目線の里山づくり	檜崎 久光 鈴木 一
③	一般社団法人もりびと	竹の食用化による竹林の有効活用	千葉 美賀子
④	農業生産法人(株)千葉農産	青パイア栽培の意義	白石 真一
⑤	大鷲里山ファーム協議会	里山活動に新しい農作物「チシャトウ」を導入	安岡 達雄
⑥	君津市役所建設部都市整備課	君津市公園ボランティアについて	君津市役所 都市整備課

(敬称略)

2. 里山活動展示発表団体

きみつ里山活動ネットワークをはじめ、多くの活動団体・市民の方の活動内容を、君津市生涯学習センター1階ギャラリーにて展示しています。

No.	発表団体名等	展示の内容等	展示責任者
1	歩こう会	身近な自然の探索を行っている	大島 巖 廣田 善吉
2	大道沢公園ホテルプロジェクト	都市公園でホテルを復活する活動紹介	新井 孝男
3	大鷲里山ファーム協議会	新しい農作物の導入(チシャトウとは)	安岡 達雄
4	鹿野山・愛彩の会	昔から存在した鹿野山の幻の滝の紹介	山中 篤
5	鹿野山・愛彩の会	美しい鹿野山の四季を創出する活動	石川 昭一
6	鹿野山ビューホテル	鹿野(ろくや)の森・鹿野山の春の紹介	森 まり子
7	亀岩の洞窟	人々に幸せを与える、亀の形をした岩の洞窟の紹介	伊原 弘晃
8	君津市教育委員会 生涯学習文化課	君津市に於けるスクールミュージアムの活動と 写真展示資料	榎本 良和
9	きみつのさんぼ道	里山の樹木と養蜂家の出会い 馬登のヤマザクラ群	檜崎 久光
10	貞元埋蔵木等活用委員会	古代からの贈り物 埋蔵木実物大の吊り幕	山中 正人 斎藤 貞夫
11	シイの森	市原市での里山活動の紹介	

12	鈴木照雄	里山の移ろいと富士山の写真展 (撮り続けて 20 数年)	鈴木 照雄
13	周南公民館	公民館活動：みどり塾の活動記録	中村 亮彦
14	炭の会 富津竹炭の会	木炭づくりと利用方法の紹介	篠崎 幹雄
15	たびたちの村・ふれあい通り	食べ物づくりでみんなの想いを実現する店	村上 智洋
16	チェリーガーデンの会	カワズザクラを中心に 40 種 140 本の サクラの園	西村 睦夫
17	千葉県森林インストラクター会	会の紹介と君津(FIC の森)での活動紹介	小池 英憲
18	千葉県森林インストラクター会	古代からの贈り物・常代遺跡	小池 英憲
19	ちば里山センター	県内の里山団体の活動事例紹介	伊藤 道男
20	ちば水源愛護会	生命のもと、水源を守る	竹井 宗弘
21	ちば千年の森をつくる会	ダム湖に浮かぶ豊英島での森づくりの活動 紹介	坂本 文雄
22	農業生産法人(株)千葉農産	新しい農業への挑戦・パイアの生産を 通じて	白石 真一
23	ツツミ建築設計室	竹や針葉樹を利用した家具・雑貨のある 生活の提案	堤 克仁
24	ツリーイング千葉	ロープを使った木登りと高木の剪定技術紹介	合原 義紀
25	濃溝の滝・ホタルの里	山間の流れにホタルの里を作る	鈴木 操
26	NPO 法人ハナノモリ	ミツバチと人間が共生できる里山創り	鈴木 一
27	浜子の歴史と景観を守る会	地域の伝統と歴史を守るための活動を実施 している	花島 正信
28	Bee's Work	ミツロウを利用した活動の紹介	堤 克仁
29	NPO フォレストセイバー研究所 合同会社ベルリン	竹材を利用して、生業となる色々の試み	林 哲夫
30	房総の旅人	房総の自然・鳥の瞳	市原 正則
31	松本一二	馬登のしだれ桜	松本 一二
32	三舟山写真同好会	三舟山を中心に動植物の写真紹介	永嶋 美地子 玉川 信也
33	もんま工房	亀山のつるを編む	門馬 秀子

(敬称略、アイウエオ順)

[お断り]

里山展示発表に関する団体名・責任者名・内容等の表示に関して、当日の展示物と異なる場合があります。ご容赦ください。

事例発表要旨

各団体10分程度で活動事例などを発表します。
各団体の資料をご覧ください。

【事例発表団体】

- ①.浜子の歴史と景観を守る会
- ②.きみつのさんぽ道 × 坊ノ内養蜂園
- ③.一般社団法人もりびと
- ④.農業生産法人(株)千葉農産
- ⑤.大鷲里山ファーム協議会
- ⑥.君津市役所建設部都市整備課

メモ

きみつ里山活動ネットワーク 活動事例発表会

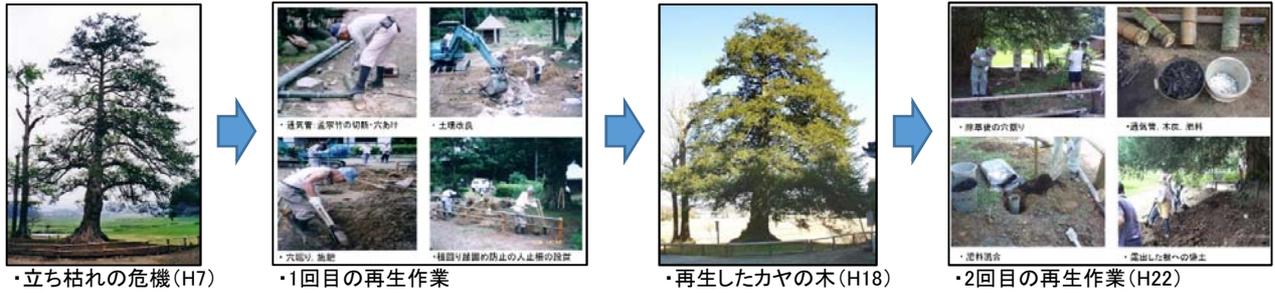
－「浜子の歴史と景観を守る会」－（概要版）

H30.02.06 荒井 裕三

□ はじめに

- ・ 浜子には鎌倉時代の建暦2年(1212年)朝廷より年号を寺号とすることが勅許された「濱子山建暦寺」があります。地域の景観のシンボルである「カヤの木」の立ち枯れの危機からの再生を目指した取組みから、周辺環境整備、竹林の整備とその資源を活用した竹製品づくりから里山空間の利活用へと活動が広がっています。

□ 活動のきっかけ：歴史をつなぐ「カヤの巨木」の再生への取組みから



□ これまでの活動：「濱子山建暦寺歴史保存会」から「浜子の歴史と景観を守る会」「浜子里山保存会」立上げへ



□ これからの活動：新たな特産品づくりを通してコミュニティの活性化と持続可能な地域活動を目指す



花と緑と風の里

きみつのさんぽ道 & 坊ノ内養蜂園



「きみつのさんぽ道(君津グリーンセンター内)」は、1966年に内山緑地建設株式会社の樹芸林業千葉試験場として樹木生産を目的に開設しました。当地は地域の薪炭林として利用されていた場所で、表土を残すために約40haの山林を人力で開墾して緑化樹木を植栽する林業手法で圃場造成を行いました。現在はその一部を開放し、多くの来園者に山の風情をお楽しみいただいています。

養蜂ガーデン

2017年4月より、坊ノ内養蜂園との連携プロジェクト「君津の森 ビーガーデンプロジェクト」がスタートし、人間とミツバチが共生できる里山づくりを目指しています。

ロケーション

散策路の各所からは東京湾やアクアライン、遠くは富士山までを見渡すことができ、これらの美しい遠景が園内の魅力を効果的に引き立てています。

イベント・セミナー

花逍遥まつりやオープンガーデン、里山の植物、園芸植物に関する様々なセミナーを実施しています。(植物観察会・場内樹木観察ツアー・寄せ植え教室・コケ玉教室・クラフト教室・養蜂体験)

ホームページ

<http://www.kimitsu-sanpomichi.jp/>

アクセスマップ



住所：千葉県君津市馬登 677-1



養蜂ガーデン

蜜源植物観察会

活動開始	会員数	活動日・回数	主な活動場所	連絡先
平成11年～ ※養蜂ガーデンは 平成29年4月～	一般入場者数 約2,000人	開園日 平日 (春季・秋季は土日祝 日も開園)	君津市馬登	0439-50-1700 檜崎・斉藤

ミツバチ目線の里山づくり

- 発表者 鈴木 一
- 主催団体 きみつのさんぼ道&坊ノ内養蜂園
- 発表内容 ミツバチ目線の里山づくり活動と地域おこし

里山の再生 ミツバチは多くの農作物の受粉を荷い、人間にとっても自然の循環にとっても大きな役割を果たしています。近年、地球規模で激減し大きな社会問題となっており、ミツバチ目線の豊かな里山再生が緊急の課題だと考えています。

多種多様な樹木の生産とミツバチ 50年に渡って、多種多様な樹木を生産してきた内山緑地建設㈱の圃場は現在、生物多様性のある豊かな森が形成され、そこには様々な蜜花粉源となる樹木が存在し、農薬・電磁波の影響も少なく、生活排水の無い綺麗な水場もあり、ミツバチにとっては理想の環境といえます。

連携プロジェクトのはじまり 平成29年4月から、きみつのさんぼ道と坊ノ内養蜂園との連携プロジェクト「君津のビーガーデンプロジェクト」がスタートし、人間とミツバチが共生できる里山づくりを目指すことになりました。この両社の出会いは、平成28年のきみつ里山ネットワークのイベントにありました。

蜜源の宝庫 春はサクラ・ユリノキ・ハゼノキ・ハクウンボク・トチノキなどが咲き乱れ、夏の終わりまで蜜源が途切れることはありません。季節によって微妙に変化する複雑で濃厚な味のハチミツが採れます。また、夏にはカラスザンショウのハチミツも採ることが出来ます。

学習の場 昨年、年間を通じてミツバチ目線の自然観察会や巣箱観察会、子供向け採蜜体験等を開催し、ミツバチの役割や自然の循環を学ぶ場として利用されています。

里山の魅力を発信 今後の目標は、蜜源・花粉源となる植物の植樹を行い、イベントを通じて地域住民や首都圏の人達にミツバチと共生している里山の魅力を発信し、地域を盛り上げていきたいと考えています。



活動開始	活動日(イベント)	所在地	連絡先
平成29年4月	月1~2回	君津市馬登 677-1	きみつのさんぼ道 0439-50-1700

竹の食用化による竹林の有効活用

一般社団法人もりびと

- 1、 千葉県の竹林の現状…今、放置竹林は大きな課題として全国的に取り組まれているが、これといった解決策はまだ無い。
- 2、 日本の筍の需要と生産…現在85%が輸入品。需要は過去20年間ほぼ変化無し。
- 3、 福岡県糸島市の「メンマの純国産化」の取り組み。
- 4、 「純国産メンマプロジェクト」キックオフされる。
- 5、 中房総「醗酵竹の子」試作品づくりについて

「青パパイヤ栽培の意義」

2012年頃「機能性野菜の表示」「地域創生」を目的に（君津市ブランド野菜）君津市大鷲を中心に「青パパイヤ」の路地栽培を始めました。熱帯作物が千葉県で、また、路地で育成するか、一年目に、350本の苗を購入し試験栽培したところ5月中旬高さが20cm～30cmの苗木を定植しました。8月後半になると高さ2.0m～2.5m位になり、花を付け結実し10月中旬300g～500g位の果実が30ヶ～40ヶ収穫できました。

更に、中山間地域の為、鳥獣被害が多いが全くなく、病虫害の被害もなく無農薬栽培でできました。



一般的にパパイヤといいますと黄色く完熟した果物を思いますが、完熟する前の青い果実を収穫し、「葉」はお茶、「果実」はサラダ、てんぷら料理等に、又、果実を粉末に加工し肉の柔軟剤等に使用しています。

茎、根については「マカ」成分を含む為加工し利用する予定です。

しかし、全国の消費者のほとんどの方が調理方法さえ知らないのが現状であります。

パパイヤは植物の中で分解酵素を最も多く含み、三大栄養素（たんぱく質、糖質、脂質）を分解する酵素が多く含まれています。また、パパイン（分解酵素の一種）を含み、カロテノイド、ポリフェノール等の天然有機化合物も多く含んでいます。

「パパイン」は古くなった角質の除去、スキンケア用品、更に、襟や袖口の汚れを落とす洗剤等幅広い産業や商品に応用されています。

そして、ポリフェノール化合物は高い抗酸化作用を示し、青パパイヤを摂取する事で美容やアンチエイジング効果などが期待されます。

青パパイヤで報告されている成分は

青パパイヤで方向されている成分	研究が行われている機能性
B-クリプトキサンチン	美白効果 ¹ 骨粗しょう症予防 ²
コーヒー酸	抗ガン作用 ³
フェルラ酸	アルツハイマー病予防 ⁴
ケルセチン	糖尿病予防 ⁵ 、動脈硬化予防 ⁶
ベンジルグルコシノレート	抗ガン作用 ⁷



果実はパパイン、葉はポリフェノールを多く含み前記の通り、鳥獣被害の問題など、手間のかからない栽培である為、今後の農作物の一品として価値の高い農産品であると思います。

何故路地栽培か？施設栽培はもちろん良いのですが、近年、燃料費、資材、人件費の高騰を考えますと一年草ではあるが、路地栽培であまり経費をかけず、葉・果・茎・根が販売できる事が更なる増収に繋がると思います。

千葉農産として今年で六年目となりますが、現在、宮城県、福島県、群馬県、長野県、栃木県等他県での試験栽培もしております。

現在日本では、医療費の増大、農業従事者の減少、耕作放棄地の拡大など、健康、農業問題が深刻な状況であります、「青パパイヤ」を用いた食品開発を通し、常に健康である可能性を秘めている事を実感しております。

「青パパイヤ」の料理本も完成し、「青パパイヤ」の購入意欲の増進に役立ち、全国の消費者の食卓に並ぶことを望みます。

公益財団法人「かずさ DNA 研究所」に協力を依頼し、科学的検証に基づく青パパイヤを用いた開発研究も進めております。



農業生産法人(株)千葉農産
代表取締役 白石真一



里山活動に新しい農作物「チシャトウ」を導入

大鷲里山ファーム協議会

かずさと都市若者「知恵」地域活性化協議会

発表・展示責任者：安岡達雄

活動拠点：「大鷲の森」

◇チシャトウとはどんな野菜か

チシャトウとは、別名「茎レタス」「アスパラガスレタス」などとも呼ばれ、直径3～5cmくらいの茎を地表に30cmほど伸ばして成長します。

茎の部分はアスパラのような歯ごたえがありクセがないので炒め物、サラダ、和え物、漬物など幅広いジャンルで美味しくいただけます。乾燥させたものが、山クラゲとして知られるものになります。

原産は中国で、古来より広く高級で縁起のよい野菜として、日本では高級な和食食材として料亭などで利用されてきました。

栄養面はレタスと変わらず、ビタミンA1、B1、Eのほか、カルシウム、フラボノイド、鉄分などバランスよく含んでいます。また、肝機能の改善に貧血予防、がん予防、高血圧予防、心筋梗塞予防、脳梗塞予防、動脈硬化予防、ナトリウムを排出させる働きのあるカリウムにより高血圧予防に効果が期待できるといわれています。

◇チシャトウに着目の理由

健康野菜として、花粉症に対する抗アレルギー作用の特許が認められていることや消化器系や肝臓機能改善等に効果があると言われていたなど①高い機能性に注目されている。味にクセがないことから和風・洋風・中華など②あらゆる料理に幅広く活用できる食材である。

苦み成分である「ラクチュコピクリン」を含んでいることから、虫が寄り付きにくく③無農薬栽培が容易である。さらには、植付けの時期が3～4月と8～9月で、収穫期が6～7月／11～12月の年2回の収穫が可能で農作業の負担も比較的少ないこと、さらには、国内ではほとんど流通していないこともあり、差別化による高い④農家の収益性の向上が期待される。



◇チシャトウの誰にもできる簡単レシピ

こんぶと醤油のうす漬け ⇒ 3分で完成 “とにかく美味しい” おつまみ

[材料]

- ・チシャトウの茎 … 1本
- ・チシャトウの先端の
柔らかい部分 … 少々
- ・塩こんぶ … 適量
- ・好みに応じてラー油を適量
- ・醤油 … 大さじ1
- ・さとう … 大さじ1
- ・みりん … 大さじ1

[作り方]

- 1 チシャトウをひょうし切りします。
- 2 煮立たせ1を入れる。



大鷲里山ファーム協議会

きみつ里山のにぎわい 2018.2.18

活動の目的及び経緯

大鷲地区の活性化と世代間責任を果せる持続可能な里山を創造しながら、「都市住民との交流」、「山林・農地保全及び有効利用」、「景観形成」、「地産地消」などの推進及び促進を目指します。活動拠点を「大鷲の森」の中に、竹林BBQ会場、炭窯、上総掘りやぐらを設置して活動をしている。

また、平成29年から“かずさと都市若者「知恵」地域活性化協議会”を併設して、都市交流の促進、新たな農産物の掘り起しによる地域活性に取り組んでいます。



江戸時代の炭窯を再現

脱臭、空気浄化、調湿効果やマイナスイオン作用などに効果のある炭を参加者自身で手軽に出来る大変面白い里山体験活動となっています。

翔和学園との交流

“森林セラピー”翔和学園は、若者たちの生きる気力を育て、底抜けの素直さや直向きな一生懸命さなどを、つくりあげてくれる里山を求めての活動で、拠点小屋づくり、稲刈りや野菜づくり、収穫祭、手作りのお神輿、籠神づくり、などを地域と一体となって活動しています。

上総掘りのアシバの設置



炭窯



竹林BBQコンサート



田植体験

里山活動に新しい農作物を導入

肝臓機能改善など高い機能性や無農薬栽培が容易で高い農家の収益性の向上が期待できる「青パパイヤ」とチシャトウの栽培に取り組んでいます。



活動開始	会員数	活動日	主な活動場所	連絡先
平成23年8月1日	20名	随時	大鷲の森(君津市大鷲地先)	090-88756-032(白井)

公園ボランティアのご案内

君津市では、都市公園・緑地のごみ拾い、草刈、剪定などの維持管理に協力していただけるボランティアの方を募集しています。

君津市公園ボランティア制度

ボランティア制度を利用していただくためには、事前にボランティア活動団体として登録していただく必要があります。

○登録

- ・ボランティアの登録は団体でお申込みください。
- ・ボランティアの登録は、随時受け付けています。
- ・申請書は、市のホームページからダウンロードしてください。
また、都市整備課窓口（市役所3階）でも配布しています。



○活動内容

- ・主なボランティア活動の内容は次のとおりです。
- ①公園内の清掃及び除草等美化に関する活動
- ②公園内樹木及び花壇の管理及び緑の普及に関する活動
- ③公園内の防犯及び防災に関する活動

○対象となる公園・緑地

- ・君津市が管理する都市公園及び緑地

○報奨金

- ・ボランティア活動にたいして、次の要件を全て満たす団体に報奨金をお支払します。報奨金の額は、毎年度1団体につき10,000円を限度として予算内でお支払いたします。
- ①当該年度の6月末までにボランティア登録されていること。
- ②活動計画書が提出されていること。（提出期間4月～6月）
- ③活動実績報告書が提出されていること。（提出期限3月20日）

○活動中の事故等における保険の適用について

- ・活動中の傷害事故や賠償責任事故は、君津市市民活動災害補償制度の対象となります。

君津中央公園市民ボランティア

君津中央公園では、定期的に市民花壇の管理等のボランティア活動を行なっています。

君津市では、一緒に君津中央公園でボランティア活動を行ってくれる方を募集しています。

○申込方法

- ・申請書は、市のホームページからダウンロードしてください。また、都市整備課窓口（市役所3階）でも配布しています。

○活動内容

- ・主なボランティア活動の内容は次のとおりです。
- ①市民花壇の草取り、水撒き
- ②市民花壇の花の植替え
- ③園内清掃等
- ④その他ボランティア活動



○活動場所

- ・君津中央公園

○活動日時

- ・原則として毎月第3日曜日、第3月曜日に活動しています。また、活動時間は、次のとおりです。
4月から11月・・・午前9時から1時間程度
12月から3月・・・午後1時30分から1時間程度

○持ち物

- ・ボランティア活動時には動きやすく、汚れてもよい服装でお越し下さい。また、お飲物や軍手、帽子等をご持参ください。

【問合せ先】
君津市役所 都市整備課
(0439)56-1282

意見交換

1.登壇者

基調講演講師	伊藤 道男 氏
君津市役所経済部長	小磯 勇二 部長
浜子の歴史と景観を守る会	荒井 裕三 氏
きみつのさんぽ道×坊ノ内養蜂園	鈴木 一 氏
一般社団法人もりびと	千葉 美賀子 氏
農業生産法人(株)千葉農産	白石 真一 氏
大鷲里山ファーム協議会	安岡 達雄 氏
コーディネーター	新井 孝男 (きみつ里山活動ネットワーク)

2.特別発表

「君津市の農林業の課題と取り組み」	
農林整備課林業振興係	神子 氏
農政課鳥獣対策係	岡本 氏

資料 1 : 「君津市の公園・緑地」・・・市民に身近な憩いの場

※この項は、市民生活にとって重要施設である公園・緑地等について、里山活動にも大きくかかわる関係から資料を掲載します。資料は市都市整備課から提供いただきました。

【公園・緑地について】

1.公園や緑地はなぜ必要なのか

- ☆都市をつくるときの中心部となるため
- ☆連続した市街地をつらないため
- ☆都市気象を緩和するため
- ☆住み良い環境をつくるため
- ☆住民のコミュニティをはかるため
- ☆健康の維持増進を助けるため
- ☆都市防災のため
- ☆自然環境・生物資源の確保のためなど、・・・たくさんあります。

2.公園や緑地の種類

- ☆目的をもってつくる公園：【一般に公開する公園】
 - 国民公園（皇居外苑・新宿御苑など）
 - 都市公園 ⇒ 身近な公園（例：大野原公園など）
- ☆自然景観などを保全するための公園：【制限のある公園】
 - ・国立公園 ・国定公園 ・自然公園

3.都市公園の種類及び設置基準

都市公園（営造物公園）には、街区公園・近隣公園・地区公園・総合公園・運動公園・広域公園などがあり、次の種類や設置するための基準があります。

君津市には、街区公園はじめ 89 箇所の都市公園があります。

- ☆大規模公園(大きな公園)・・・本市にはない
 - 広域公園 ⇒ 主として一の市町村の区域を越える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、1 箇所当たり面積 50ha 以上を標準として配置する。
- ☆都市基幹公園
 - 総合公園：【休息・観賞・散歩・遊戯・運動等に利用する公園】 ※君津市にはありません
 - 運動公園：【運動に利用する公園】
 - (例：内みのわ運動公園) ⇒ 1 箇所
- ☆住区基幹公園
 - 街区公園：【250m の範囲内に居住する者が徒歩で利用する公園】
 - (例：中野中央公園・中野南公園など) ⇒ 72 箇所
 - 近隣公園：【500m の範囲内に居住する者が徒歩で利用する公園】
 - (例：大野原公園・堺田公園など) ⇒ 8 箇所

地区公園：【1Km の範囲内に居住する者が徒歩で利用する公園】

(例:かずさ 4 号公園) ⇒ 1 箇所

☆特種公園(風致公園・動植物公園・歴史的公園など)

☆緩衝緑地：【公害の防止や緩和及び工場などからの災害を遮断するための緑地】

(例:君津緩衝緑地など) ⇒ 2 箇所

☆都市緑地：【自然環境の保全や都市景観などのための緑地】

(例:小糸川沿岸緑地など) ⇒ 3 箇所

☆緑道：【災害の時の避難路確保などのための緑道】

(例:大道沢緑道) ⇒ 1 箇所

4.その他の公園

君津市には都市公園の他に市立公園 16 箇所、農村公園 6 箇所があります。

また、子供の遊び場が 10 箇所あります。

☆市立公園(例:亀山湖畔公園など) ⇒ 16 箇所

☆農村公園(例:久留里市場農村公園など) ⇒ 6 箇所

☆子供の遊び場(例:中野東前子どもの遊び場など) ⇒ 10 箇所

5.公園・緑地の維持管理

公園や緑地を、一定の状態ですべて守っていくには、いろいろな管理が必要となります。

次のようなことを考慮し、作業を実施しております。

☆利用者が使いやすい状態でなくてはならない。

☆利用者が安全に使うことができなくてはならない。

☆動植物や生物の環境を守らなければならない。

☆少ない費用で大きな効果を上げなければならない。

6.公園・緑地の管理者及び管理業者

公園・緑地の管理者は君津市ですが、実際に草や芝を刈ったり、ゴミを集めたり、植木の剪定をしているのは、造園業者や君津市シルバー人材センターなどです。

7.公園・緑地では、次のことを守りましょう

★ごみや汚物を捨てない。……『ゴミは持ち帰りましょう』

★犬のフンを放置しない。

★ゴルフの練習をしない。……『マナーを守りましょう』

★人に迷惑をかけない。

★施設(遊具や植木など)をこわさない。

*ゴミ箱を置いてある公園もありますが、近年大部分は撤去しております。

資料 2 : 君津市の農・林業について

【君津市の森林、林業の概要について】

1. 君津市の現状と課題

- 君津市 総面積：31,883ha (県内 2 位)
 うち森林面積：20,637ha (総面積の 64.7%)
 うち千葉県南部地域森林計画に位置付けられた
 民有林：18,287ha (※民有林：国有林以外の山林)
 うち人工林面積：6,621ha (人工林率 36.2%)
 うち 50 年を超えた森林：3,547ha (53.6%)
 (※標準伐期齢 スギ 45 年)



樹種別の立木の標準伐期齢

樹 種					
スギ	ヒノキ	マツ	その他針葉樹	クヌギ	その他広葉樹
45 年	50 年	40 年	50 年	15 年	制限林等のみ 20 年

2. 森林施業の推進方針に係る基本的な考え方

森林所有者の把握：森林の土地所有者の変更の届出等

情報の収集・協力：森林所有者、森林組合等との協力

施 業 ・ 整 備：施業の集約化や路網整備を進め
 各種事業の活用

※H27 実施事業 サンプスギ林再生資源循環促進事業
 県単森林整備事業

3. 森林施業の合理化に関する基本方針

現 状

- ・木材価格の大きな上昇が期待できない
- ・森林所有者の施業意欲の低下
- ・境界管理等不十分

→ このため、施業効率化を図ることは困難

方 針

- ・森林組合による集約化施業
- ・路網の整備や境界管理の推進

→ 森林施業の合理化を図る



4.森林整備を通じた地域振興に関する事項

ミツバツツジ保護条例の制定（平成8年7月1日施行）

・ミツバツツジ保護地域の指定

くじら島保護地域（君津市宿原地先）：19,753 m²

とよふさ保護地域（君津市豊英地先）：595,726 m²

くるり保護地域（君津市久留里市場地先）：1,798 m²

植樹祭(4月)、景観整備・管理、保護監視員による巡視等



三舟山（君津市小香地先 市有地）

・倒木撤去、除草作業による管理等

・展望台等の整備・維持管理

お花見ウォーク(4月)、森林体験教室等



【君津市の農業の概要について】

以下の5項目のうち、①の君津市の「農業の概要について」のみ資料としました。

①君津市の農業の概要について

②農地の集約化（農地中間管理事業）

③農業後継者の育成

④手軽にできる家庭菜園について

⑤農薬の使用について

1.君津市

面積：318.83km²

人口：87,581人（平成27年9月30日現在）

世帯：38,407世帯（平成27年9月30日現在）

気温：年平均気温14.1度

名産：米、たまご、カラー、自然薯、小糸在来(大豆)



2.君津市の農家世帯及び販売農家数は減少している

	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
市世帯	32,364 戸	33,914 戸	33,908 戸
農家世帯	3,068 戸	2,781 戸	2,346 戸
市人口	90,977 人	89,166 人	89,168 人
販売農家	2,124 人	1,851 人	1,484 人
基幹的農業従事者	2,012 人	1,995 人	1,617 人

3.経営耕地面積の全体は 2,194ha、全体的に減少傾向

	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
耕地面積	2,276ha(100%)	2,194ha(100%)	1,970ha(100%)
田	1,934ha(85%)	1,843ha(84%)	1,671ha(85%)
畑	245ha(11%)	263ha(12%)	223ha(11%)
樹園地等	97ha(4%)	89ha(4%)	76ha(4%)

4.君津市の専業・兼業農家推移

全体的に農家数は減少しているが、農業収入を主とする農家は横ばい。

経営耕地 1ha 未満の比較的小規模農家が約 2/3 を占める。

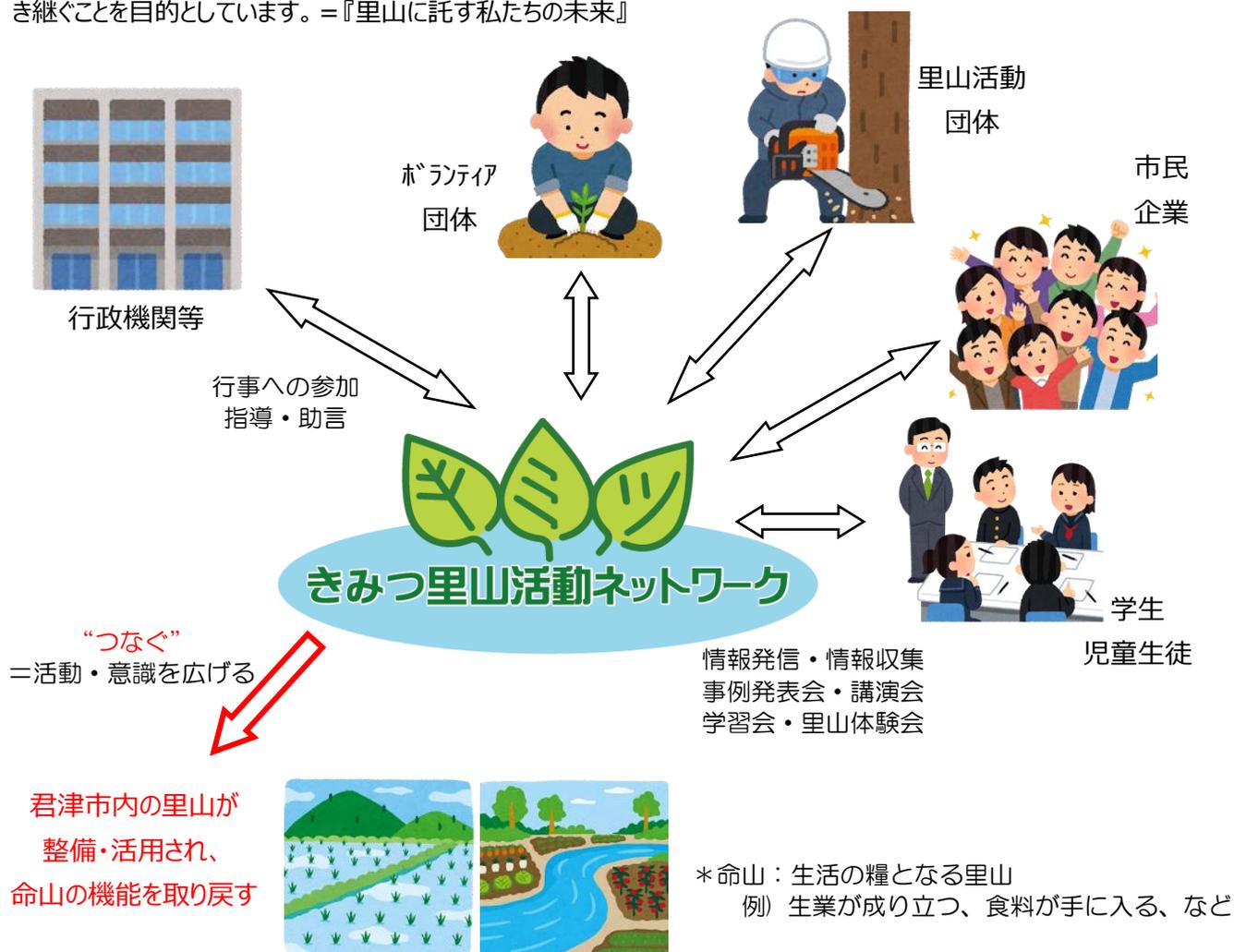
5.君津市の主な生産物（君津市農業産出額）

	平成 17 年	平成 18 年	平成 27 年
米	2,190 百万円	2,040 百万円	1,880 百万円
雑穀・豆類	140 百万円	160 百万円	30 百万円
いも類	250 百万円	270 百万円	30 百万円
野菜	1,510 百万円	1,540 百万円	1,210 百万円
花き	320 百万円	300 百万円	500 百万円
畜産	4,510 百万円	4,520 百万円	5,160 百万円
合計	8,920 百万円	8,830 百万円	8,810 百万円

きみつ里山活動ネットワークの紹介

平成 26 年 5 月 18 日、『里山シンポジウム in 君津大会：里山・裏山・命山』が開催されました。そこに参加した里山関係者や一般市民の総意と市行政機関の助言により、「ちば里山宣言 in 君津」が宣言されました。この宣言と君津市の健康都市宣言にある「人がつどい活力あるまちづくり」、加えて千葉県里山条例の具体化を図ることが必要であるとして、翌平成 27 年 5 月 23 日に『里山活動事例発表会：君津の里山のにぎわい』の実施と設立総会を経て、きみつ里山活動ネットワークが生まれました。

里山で活動している団体や、里山に関心がある市民・企業など、様々な立場の人々が交流や情報の共有を通して、それぞれが持っている技術や知恵、人材などのネットワークを構築することにより一つの大きな力となって、多様な里山活動を互いに支えながら人や生き物にとってかけがえのない君津の里山環境を未来に引き継ぐことを目的としています。=『里山に託す私たちの未来』



【求める成果】

里山は、「SATOYAMA」と英語表記されるまでに至りました。私たちの生活に欠かせなかった里山の生活を取り戻すために活動されている団体や市民をつなぐことは、君津市の未来に豊かな暮らしをもたらすことであると考えています。“君津市文化のまちづくり市税 1%支援事業”などの助力で活動を進めています。

- ・講演会や里山活動事例発表会により、相互の情報交換を行い、小さな活動も大きく転換します。
- ・現在の里山は、はたしてどうなっているのか？里山活動体験などを通して「知る」をはじめます。
- ・自然は油断大敵です。里山に入る一歩を里山安全講習会を経て、活動の啓蒙を行います。

H29年度 きみつ里山活動ネットワークの活動

里山活動者のネットワークづくりの他、「里山での生業を考える」をテーマに活動を進めました。

◆里山作業講習会（君津市 文化のまちづくり 1%支援事業採択）



【チェーンソー特別講座】

- ・平成 29 年 9 月 30 日～10 月 1 日 開催
 - ・参加者数：21 名
 - ・協賛：NPO 法人ちば里山センター
- チェーンソーを利用した仕事に就きたい、チェーンソー技術を身につけたい、などの要望に応えた特別講座です。千葉県森林組合南部支所の木村正敏氏を講師に迎え、労働安全衛生規則に規定される「伐木等業務特別教育」を行い、伐木等に関する基礎・実践の知識を学びました。



【刈払機取扱作業安全衛生教育講座】

- ・平成 29 年 11 月 18 日 開催
 - ・参加者数：12 名
 - ・協賛：NPO 法人ちば里山センター
- 刈払機を利用した仕事に就きたい、刈払機について詳しく知りたい、などの要望に応えた講習会です。千葉県森林組合南部支所の木村正敏氏を講師に迎え、労働基準局通達「刈払機取扱作業に対する安全衛生教育実施要領」に基づく講座を行い、実践に活かせる内容となりました。

◆里山体験バスツアー（君津市 文化のまちづくり 1%支援事業採択）



【君津・里山の魅力を探しにでかけよう！】

- ・平成 29 年 12 月 17 日 開催
 - ・参加者数：43 名
 - ・共催：君津市文化協会自由部門
- あまり知られていない君津の里山の魅力を探すバスツアーです。日本一の生産量を誇るカラー栽培場や卵生産工場などの里山の生業見学、亀山湖周辺の魅力を体感しました。市民間の交流も楽しめた一日となりました。

この他、ミツバツツジ植樹祭や君津市都市緑化祭への参加を行いました。

里山活動事例発表『きみつ 里山のにぎわい』とともに、今後も多くの方に里山の魅力と里山で生きる道の探求を目指した活動を行っていきます。

里山活動関係諸団体の皆様
関係者の皆様

きみつ里山活動ネットワーク
会長 鈴木 宗男(印略)

きみつ里山活動ネットワーク加入のお願い

拝啓

皆様におかれましては、益々ご隆盛のことと存じます。

いま、里山が危機を迎えています。君津に限ったことではありませんが、第一次産業者の高齢化、後継者不足、乱開発、水質汚染、不法投棄、有害鳥獣の問題など、人の暮らしの変貌に伴い、基盤であるはずの里山が荒れてしまっています。はたして私たちは未来をどのように生きていくのか？そんな疑問を持たずにはいられません。

現在活動されている皆様、あるいは里山環境に関心を持たれている皆様は多いことと存じます。

実際に活動をなされている皆様におかれましては、日々ご苦勞様です。興味は抱きつつも、いまだその一歩を踏み出せないでいる皆様は、何かのきっかけでその一歩を踏み出していただけると存じます。

ひとりの力では頼りないことは多くありますが、志を一つに集まる力は大きな力となります。

そのような大きな力をきみつ里山活動ネットワークでは構築することを目指しております。

私どもの趣旨をご理解いただき、ご助力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

個人、及び企業・団体の入会申込書は次ページです。入会を希望される方は、ご記入の上、連絡先までお送りください。

連絡先：きみつ里山活動ネットワーク 事務局 (堤 克仁)

FAX 0439.27.0277 E-mail info@kimitsu-satoyama.net

きみつ里山活動ネットワーク入会申込書（個人）

年 月 日

私は、「きみつ里山活動ネットワーク」の趣旨に賛同し、入会を申し込みます。

フリガナ 氏名		会員種別(○印) 会 員 賛助会員
住 所	〒 _____	所属団体等名称
		同上代表名
電 話	Tel 携帯	同上連絡先住所
		同上電話等
Eメール		同上 Eメール等

きみつ里山活動ネットワーク入会申込書（団体・企業）

年 月 日

当会(社)は、「きみつ里山活動ネットワーク」の趣旨に賛同し、入会を申し込みます。

フリガナ 団体名又は 企業名		会員種別(○印) 会 員 賛助会員
フリガナ 代表者		連絡先担当者 職 氏名
事務所 所在地	〒 _____	同上住所（事務所と異なる場合）
		同上電話等
電話等	Tel 携帯 Eメール	同上 Eメール HP アドレス
主な活動 分野		備考

ちば里山宣言 in 君津

私たちは、「里山・裏山・命山 その恵みと創造—見る、聞く、触れる、味わう、嗅ぐ、そして、作る、遊ぶ、学ぶ—」をテーマに第11回里山シンポジウム in 君津に集いました。

里山と地域にかかわり活動する私たちは

「里山の持つ魅力と人をはぐくむ底力」について語り合い

「里山に託す私たちの未来」を共有し、次のとおり宣言します。

里山は、先人が自然に働きかけ創り上げた

豊かな生活空間です

里山は、水・薪炭・萱・山菜・落ち葉・緑肥・木材など

多様な恵みをもたらす命山です

里山は、季節ごとに姿を変え、心をいやす

美しい景観、心のふるさとです

東京湾越しに富士を望む君津は

山と水に恵まれ、田園が広がる里山の象徴です

かつてトキとコウノトリが飛びかった君津

人と動物、植物が織りなす農・林・漁業を営む伝統の景色です

いま里山の多くが、人の手が遠ざかり

賑わいを忘れ、荒れ、寂しく、沈んでいます

私たちは今、里山の恵みの偉大さにきづき

再び里山に地域の誇りと命の賑わいを求めて行動をはじめました

私たちは、里山に親しみ、里山に抱かれ、里山にいやされ

里山文化に学び、里山に働きかけ、里山を守ります

私たちは、人と自然が一体となった

生物多様性の宝庫・里山の再生と再創造を進めます

そのために、私たち市民と市民グループは

国・県・市町村、企業・学校・公民館・博物館などと共に

広く海外の人々とも結び、知恵を出し合い、協働し

里山を子どもたちそして未来に生きる人たちに引き継ぎます

平成26年5月18日

第11回里山シンポジウム in 君津 参加者一同



君津市文化のまちづくり 1%支援事業採択

発行 平成30年 2月18日 (日)

きみつ里山活動ネットワーク